

わたしの元気のもと

竹島小学校 二年 わたなべ あい

「いただきます。」

ごはんをばく。とれたばかりのお米を口に入れたら、ふおふおして、まほうのお米みたい。がんばってつくったお米はおいしいな。お米ってどうやってつくるんだろう。ほおっておいたらかれちゃいそう。だって、トマトは、水やりをまい朝やって、おきめをとって、トマトがなるまでやることがいっぱい。

ふしぎに思っておじいちゃんの田うえを見せてもらった。おかあさんとまい年田うえにきているけど、じくりに見たのははじめて。

おばあちゃんとなえのはこについているね。こをとっているとおじいちゃんが、「あいのものってみるか。」

と言ってくれた。わたしは、音も大きいし、おちたらどろまみれだし、こわいな、思った。でも、のたらどんなかんじだろう。おもいきって田うえきについてみた。きかいは

ガタガタしてドキドキした。こんなにガタガ
 タしているのに、おじいちゃんやハンドルを
 うごかしたり、いねをほじくうしたり、たい
 へんそう。なのに、うえおわったいねはまっ
 すぐでとってモきれい。あんなにきれいにう
 えるのすごいな。

田うえきがまがったときに、土にタイヤの
 あとでこぼこがでてる。これがあるとなえ
 がうえられないんだ。わたしは、田うえ
 きをおりて、でこぼこをたいらにするのをて

つだった。田んぼに足を入れるとむにやっ
 おもくて、うごくのもたいへん。でも、なえ
 をうえるためにがんばったんだ。

おぼんに田んぼにいてみたら、あんなに
 小さかったいねが、こしまで大きくなっ
 た。いねの先には、お米の形のみがいっぱい
 なっていた。お米もせいちようしたんだ。
 人間とおんなじみたい。おじいちゃんがたい
 せつにそだてたお米をだいに、のこさない
 ようにたべたいな。